APLEX

エンドユーザー向けマニュアル

第1.1版

目次・索引

第1章. APLEX の基本操作	
第 2 章. APLEX へのログイン・画面構成	6 -
2.1 . 対応ブラウザ・OS	6 -
2.2. ログイン	7 -
2.3. APLEX の画面構成	8 -
2.3.1. ユーザーサイト	8 -
2.3.2. ドキュメントビューアー	- 9 -
第3章 書類を作る	
3.1. 作成する書類を選択する	
3.1.1. 新規作成	
3.1.2. コピーして新規	
3.1.3. 関連書類	
3.2. 書類に入力する	
3.2.1. 書類上の項目へ入力する	
3.2.1. 音類上の項目へ入力する	
3.2.3. 付随申請書の入力	
3.2.4. ファイルの添付やメモを残す	
3.3. 書類を作成・申請する	
3.3.1. 申請者自身が書類を新規に作成し、申請する	
3.3.2. 代理申請者が書類を新規に作成し、申請する	
3.4. 付随申請書を作成・申請する	
3.4.1. 下書きに保存された書類から作成し、申請する	
3.4.2. 親書類の関連書類から作成し、申請する	
3.5. 書類内容の保存/編集	
3.6.書類を引戻す	23 -
3.7 .書類を取下げる	24 -
3.8 .書類を削除する	25 -
3.9.処理ユーザーを設定する	26 -
第4章. 書類を承認する	29 -
4.1. 自分に回付されている書類を承認する	29 -
4.2.書類を代理で承認する	
4.3.書類を差戻す	33 -
4.4.書類を却下する	
第5章. 書類を探す	- 35 -
5.1. 自分が処理する/処理した書類を確認する	
5.1.1. 処理待ち	
5.1.2. 処理済み	
5.2. 条件を指定して書類を検索する	
5.2.1. 簡易検索<件名・書類 ID などから検索>	
5.2.2. 詳細検索<書類の内容などを指定して検索>	
第6章. その他の書類操作	
6.1. 書類の PDF 化	
6.2.1. 検索結果一覧から CSV 出力	
6.2.3. 書類一覧の Excel 出力	
6.3. 書類のプロパティ	
6.3.1.全般	
6.3.2. 回付状況	
6.3.3. 回付履歴	
6.3.4. 処理者変更履歴	
6.3.5. 書類履歴	46 -
6.4.書類の共有	47 -
第7章. 個人設定	48 -
7.1. 設定の一覧	48 -
7.2.代理承認権限設定	49 -
7.3.代理申請権限設定	50 -
7.4.通知フィルター	51 -
7.5. その他の設定	52 -
7.5.1. ダブルクリックによる書類表示の方式	
7.5.2. 承認時の書類表示モード	
第8章. スマートフォンからの書類操作	
8.1. ログイン	

APLEX エンドユーザー向けマニュアル Ver1.1

8.2.各メイン画面への遷移	54 -
8.3.申請書を表示する	54 -
84申請書を承認する	- 56 -

改版履歴

版	更新日	担当者	項番	内容
1.0	2020/03/02	テレビ朝日	-	初版作成
1.1	2020/10/23	テレビ朝日	3.9	処理ユーザーを選択する手順を追記

第1章. APLEX の基本操作

APLEX では大きく分けて以下の操作を行うことができます。

書類を作る

書類を作成し、申請します。 既存の書類をコピーして新しい書類を作成することもできます。

書類を承認する

自分に回付された書類を承認し、次に進めます。 入力内容の編集や、申請者に差戻すこともできます。

書類を探す

・・・ 過去に自分が申請、承認した書類や、 これから自分に回付される予定の書類などを確認できます。 また、条件を指定した検索も行うことができます。

その他の操作

・・ 書類の表示方法や表示言語などの設定ができます。 また、書類を PDF として表示することができます。

第 2 章. APLEX へのログイン・画面構成

APLEX は書類の提出や承認をブラウザ上で行うワークフローシステムです。

本章では、APLEX を利用するにあたって最初に必要な事項を説明します。

2.1. 対応ブラウザ・OS : APLEX の対応ブラウザ・OSについて説明します。

2.2. ログイン : APLEX へのログインについて説明します。

2.3. APLEX の画面構成 : APLEX ユーザーサイトの画面を簡単に説明します。

2.1. 対応ブラウザ·OS

APLEX の対応ブラウザ・OSは以下の通りです。

No.	使用端末	OS	ブラウザ
1	Prism 端末	Windows 10	Internet Explorer 11
			Edge
			Chrome
2	社外 PC	Windows 10	Internet Explorer 11
			Edge
			Chrome
3	スマートフォン	Android	Andorid 標準ブラウザ
		iOS	Safari

2. 2. ログイン

ログイン画面から PrismlD と PrismlD のパスワードを入力し、ユーザーサイトへログインします。 ユーザーサイトのログイン画面は以下の URL からアクセスします。

https://aplex.tv-asahi.co.jp /Agileworks/Broker/Picus





ログイン時にエラーが発生した場合、以下を参考に対応してください。

▼ログイン画面でのエラー

<u> </u>		
エラーコード	エラーメッセージ	説明
BRKCMN-W0002	ログイン ID またはパスワードに誤りがあります。	ログイン ID かパスワードが間違っています。
		正しい値を入力してください。
		ログイン ID/パスワードが不明な場合は管理者にお問い合わせ
		ください。

2.3. APLEX の画面構成

ここでは APLEX の画面の説明をします。

<u>2.2.1.ユーザーサイト</u> : ユーザーが主に利用する画面

<u>2.2.2.ドキュメントビューアー</u> : 書類を表示するためのビューアー

2.3.1. ユーザーサイト

ユーザーが主に利用する画面です。

この画面から書類の操作や個人設定の変更などを行います。

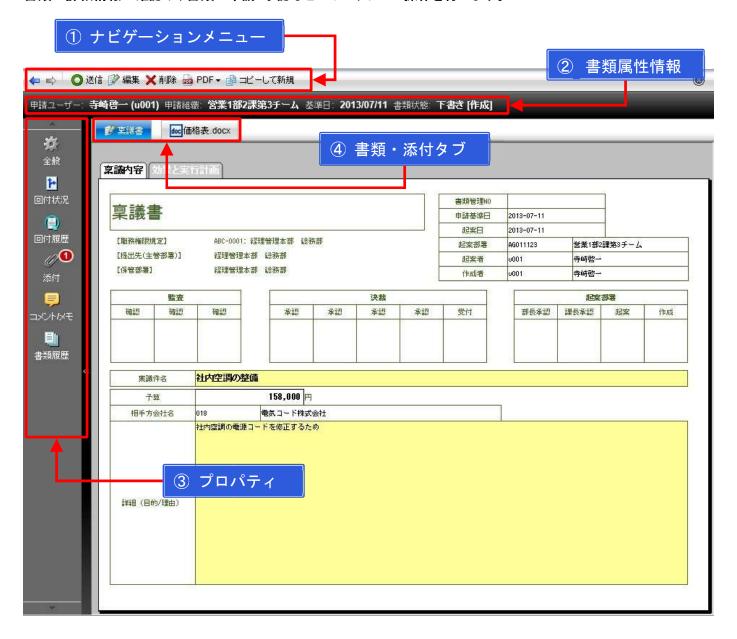


メニュー名	説明
①機能メニュー	APLEX の主な 3 つの機能を切り替えるメニューです。仕事 : 自分に関わりのある書類を扱います書類作成 : 書類を新規に作成します検索 : 書類を検索します
② ワークベンチ	機能メニュー毎に用意されているサブメニューです。
③ツリーメニュー	ここで選択した情報が画面右側に表示されます。
④操作メニュー	一覧にて選択した書類に対して行う操作のメニューです。
⑤設定	ログインしているユーザーの所属部署などの確認と設定の確認/変更ができます。
⑥ログアウト	APLEX からログアウトします。

2.3.2. ドキュメントビューアー

書類を表示するためのビューアーです。

書類の詳細情報の確認や、書類の申請・承認などのワークフロー操作を行います。



表示部	説明
①ナビゲーションメニュー	表示している書類に対する操作を行うナビゲーションメニューが表示されるエリアです。
②書類属性情報	表示している書類の属性情報が表示されるエリアです。
③プロパティ	表示している書類の詳細情報を確認するボタンが表示されるエリアです。 全般 :書類の全般情報 回付状況 :書類の回付状況 回付履 歴 :書類の回付操作履歴(申請、承認、差戻しなど) 添付 :添付 の登録・一覧 コメント/メモ:コメント/メモの登録・一覧 関連書類 : 関連書類がある場合、関連書類の登録・一覧 閲覧権限 :承認完了書類 の場合、承認完了後の閲覧権限情報を表示 書類履歴 :書類の項目単位 の変更履歴
④書類・添付タブ	表示している書類のフォーム名と添付されているファイルのファイル名が表示されるエリアです。 添付が無い場合はフォーム名のみが表示されます。

第3章.書類を作る

この章では、書類を作る際に必要な操作を説明します。

3.1 作成する書類を選択する

3.2.書類に入力する

3.3.書類を作成・申請する

3.4.付随申請書を作成・申請する

3.5.書類内容の保存/編集

3.6.書類を引戻す

3.7.書類を取下げる

3.8.書類を削除する

:作成したい書類を選びます

:書類の必要事項を入力します

:書類を回付させます

:付随申請書を回付させます

:書類の内容を途中で保存します

:回付させた書類を自分のステップに戻します

:差戻された書類を取下げます

:回付させなかった書類を削除します

3.1. 作成する書類を選択する

作成する書類の選択・表示は、以下の何れかの方法で行います。

3.1.1.新規作成 :書類を新しく作成します

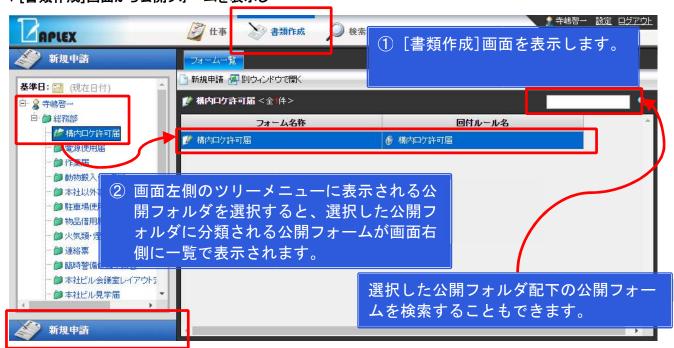
3.1.2.コピーして新規 : 既存の書類をコピーして作成します

3.1.3.関連書類 : 既存の書類に関連付けた書類を作成します

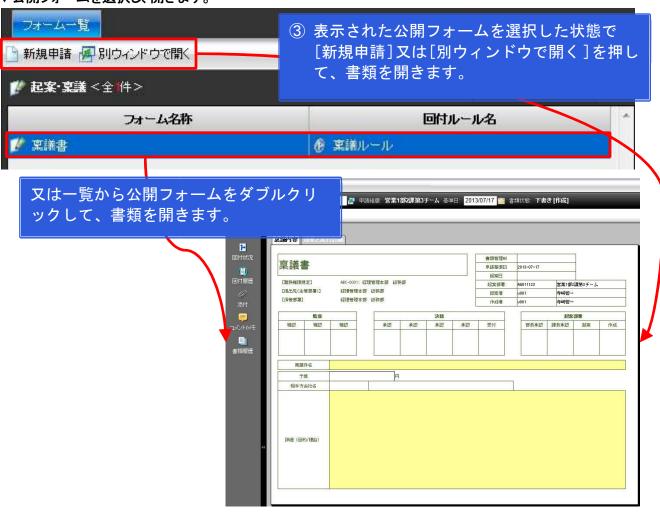
3.1.1. 新規作成

書類の新規作成は、[書類作成]画面から行います。

▼[書類作成]画面から公開フォームを表示し



▼公開フォームを選択し、開きます。



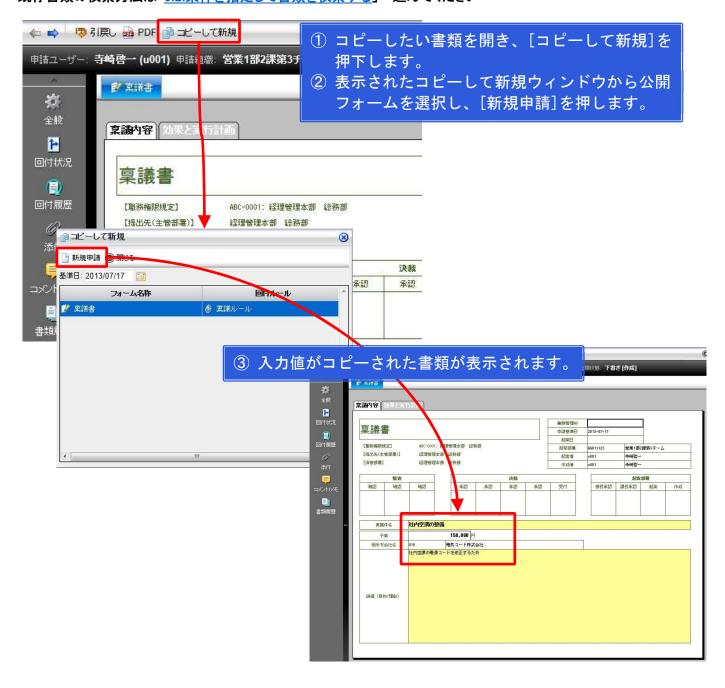
- ①公開フォーム → 書類の定義情報である[フォーム]と書類を回付する情報が定義されている[回付ルール」の組み合わせです。ユーザーが利用する書類は必ず[フォーム]と[回付ルール]の組み合わせになっています。

3.1.2. コピーして新規

既に存在している書類をコピーして書類を作成したい場合は、コピーして新規を利用します。

この機能は管理者が有効/無効を設定します。そのため、書類によっては利用できない場合があります。

過去に自分が処理した書類の確認方法は「<u>5.1.2.処理済み</u>」へ 既存書類の検索方法は「<u>5.2.条件を指定して書類を検索する</u>」へ進んでください



>> 「3.2.書類に入力する」へ進んでください <<

3.1.3. 関連書類

管理者が関連書類の設定を行っていると、既に存在している書類に関連付けて書類を作成する関連書類を利用することができます。

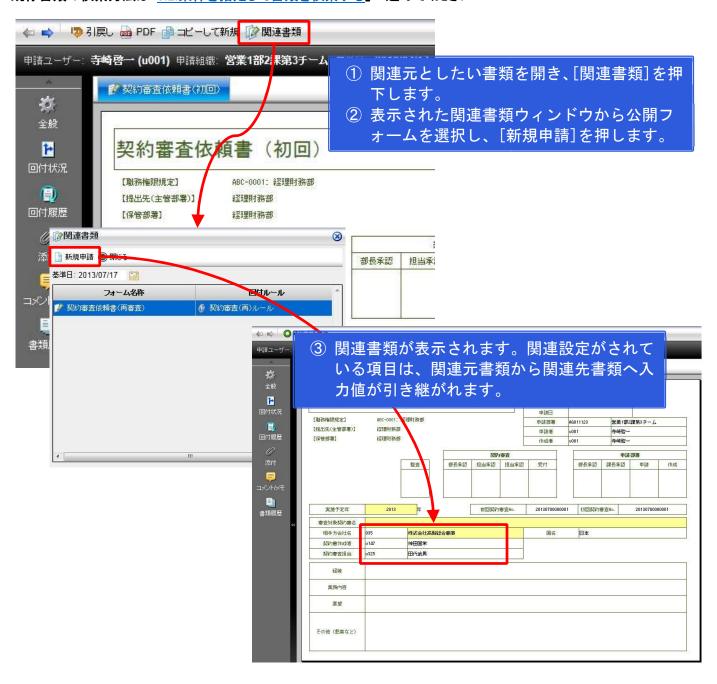
関連書類

関連書類は管理者が設定することによって利用することができます。

関連書類を利用して書類を作成すると、元の書類と作成した書類間に親子関係を持たせることができます。 入力されている内容も引き継ぐことができ、1つの書類から複数の関連書類を作成することができます。 ※既存の書類同士を関連付けることはできません。

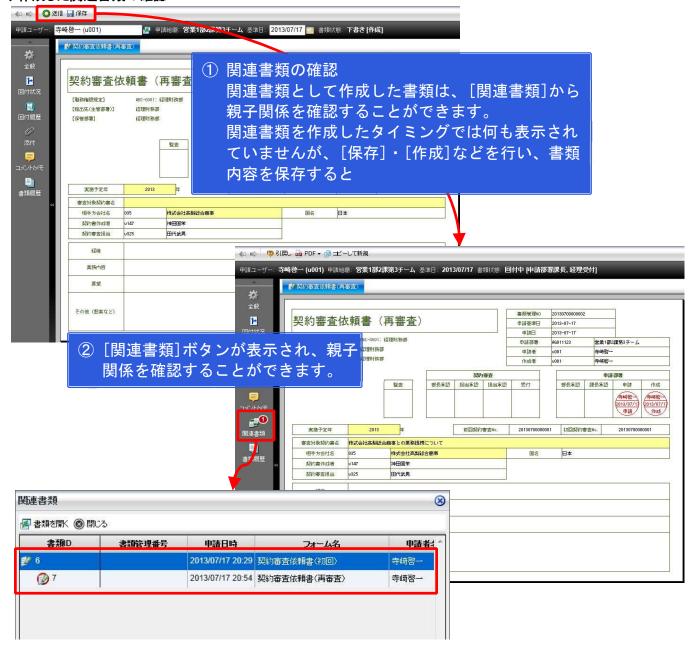
過去に自分が処理した書類の確認方法は「5.1.2.処理済み」へ

既存書類の検索方法は「5.2.条件を指定して書類を検索する」へ進んでください



>> 次のページへ進んでください <<

◆作成した関連書類の確認



関連書類については別途、「3.4.付随申請書を作成・申請する」を参照してください

>> 「3.2.書類に入力する」へ進んでください <<

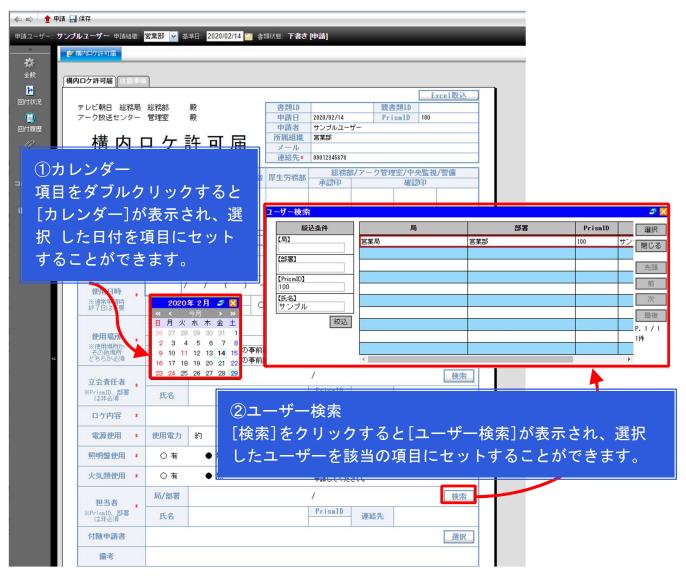
3.2. 書類に入力する

書類への入力操作は大きく分けて以下の手順に分かれています。

- 3.2.1.書類上の項目へ入力する
- 3.2.2.Excel ファイルから取り込む
- 3.2.3.付随申請書の選択
- 3.2.4.ファイルの添付やメモを残す

3.2.1. 書類上の項目へ入力する

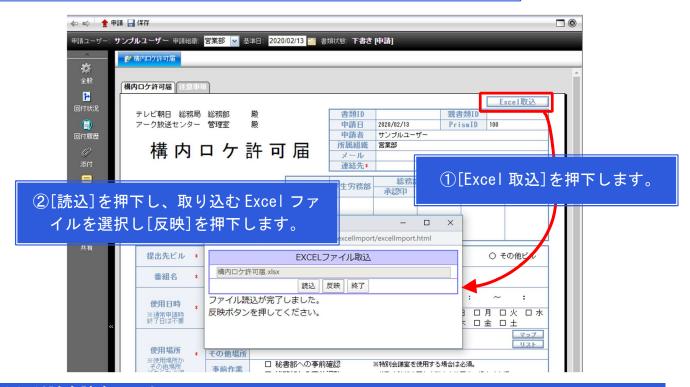
- ◆入力が必要な項目を選択し、内容を入力していきます。 キーボードからの入力以外に、[カレンダー]や[ユーザー検索]等から入力することもできます。



3.2.2. Excel ファイルから取り込む

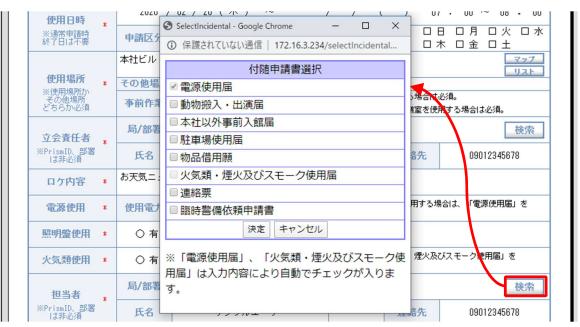
申請書に直接入力する以外に、Excel ファイルから取り込むこともできます。 Excel ファイルの申請書のひな形は申請ポータルからダウンロード可能です。

申請ポータル:http://shinsei-portal/portal/top/index



3.2.3. 付随申請書の入力

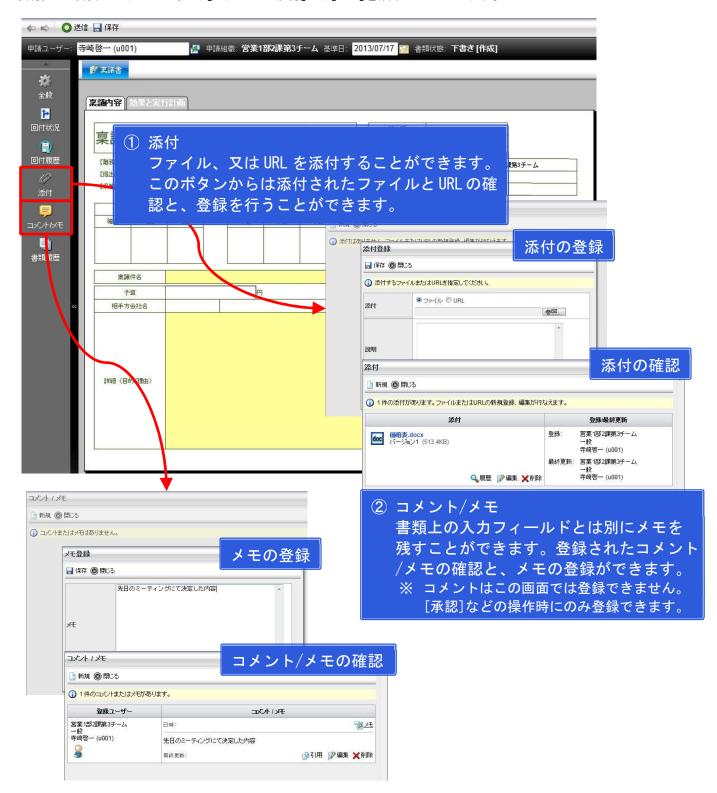
申請書に関連書類として付随申請書が必要な場合は[選択]をクリックし、必要書類にチェックを入れて[決定]をクリックします。



入力後、書類を一旦保存したい場合などは[保存]してください 詳細は「3.5.書類内容の保存/編集」を参照してください

3.2.4. ファイルの添付やメモを残す

書類上の項目への入力以外に、[ファイルの添付]や、[メモ]を残すことができます。



>> 「3.3.書類を作成・申請する」へ進んでください <<

3.3. 書類を作成・申請する

APLEX にて書類を提出する手順は以下の2つのパターンがあります。

▼①申請者自身が書類を新規に作成し、申請するパターン



▼②代理申請者が書類を新規に作成し、申請するパターン

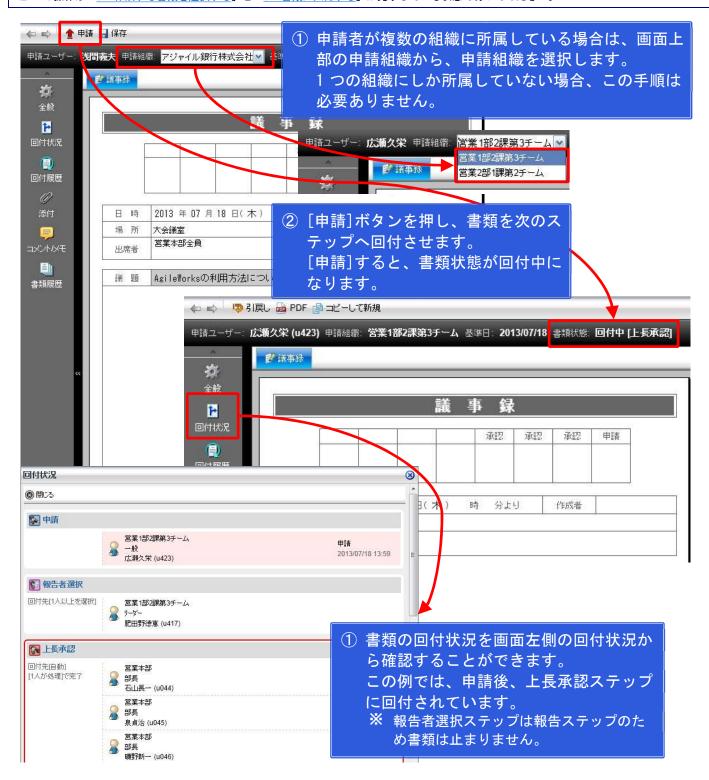


- ①の場合は「3.3.1.申請者自身が書類を新規に作成し、申請する」へ
- ②の場合は「3.3.2.代理申請者が書類を新規に作成し、申請する」へ 進んでください

3.3.1. 申請者自身が書類を新規に作成し、申請する

申請者自身が書類を新規に作成し、書類を申請します。

 $oldsymbol{0}$ この操作は「3.1.作成する書類を選択する」と「3.2.書類に入力する」が完了している状態で行ってください。



>> 書類の申請は以上で完了です <<

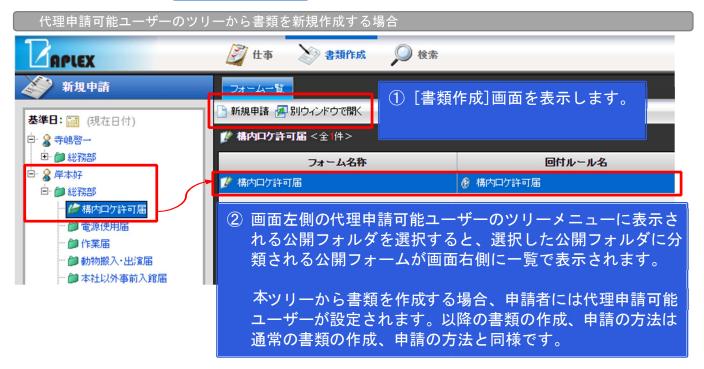
書類を自分のステップに戻したい場合は「<u>3.6.書類を引き戻す</u>」へ 申請した書類の状況を確認したい場合は「<u>5.1.2.処理済み</u>」へ進んでください

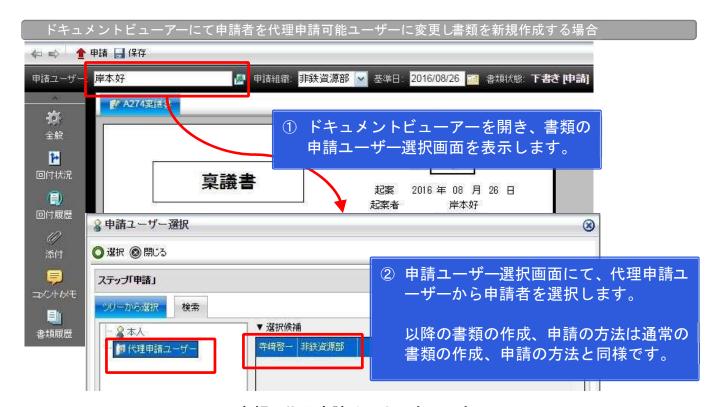
3.3.2. 代理申請者が書類を新規に作成し、申請する

申請者の代わりに他のユーザーが代理で書類を新規に作成し、書類を申請します。

代理申請可能ユーザーのツリーから書類を新規作成する、もしくはドキュメントビューアーにて申請者を代理申請可能ユーザーに変更することで、代理申請者が書類を新規に作成し、申請することが可能です。

代理申請者の設定方法は「7.3.代理申請権限設定」を参照してください。





>> 書類の代理申請は以上で完了です <<

書類を自分が代理で申請したステップに戻したい場合は「<u>3.6.書類を引き戻す</u>」へ申請した書類の状況を確認したい場合は「5.1.2.処理済み」へ進んでください

3.4. 付随申請書を作成・申請する

付随申請書は以下の方法で作成・申請することができます。

- 3.4.1. 下書きに保存された書類から作成し、申請する
- 3.4.2. 親書類の関連書類から作成し、申請する

3.4.1. 下書きに保存された書類から作成し、申請する

申請書の[付随申請書]に入力がある場合、[下書]に該当の付随申請書が自動保存されます。



3.4.2. 親書類の関連書類から作成し、申請する

申請書の[付随申請書]に入力がある場合、[関連書類]に該当の付随申請書が自動保存されます。 親書類を表示し、[関連書類]から付随申請書を選択します。

「3.1.3.関連書類」の「◆作成した関連書類の確認」を参照してください。

3.5. 書類内容の保存/編集

書類に入力した内容を、申請や承認などをせずに、内容を保存したい場合は[保存]を利用します。 保存した、又は回付されてきた書類の内容を変更したい場合は[編集]を利用します。

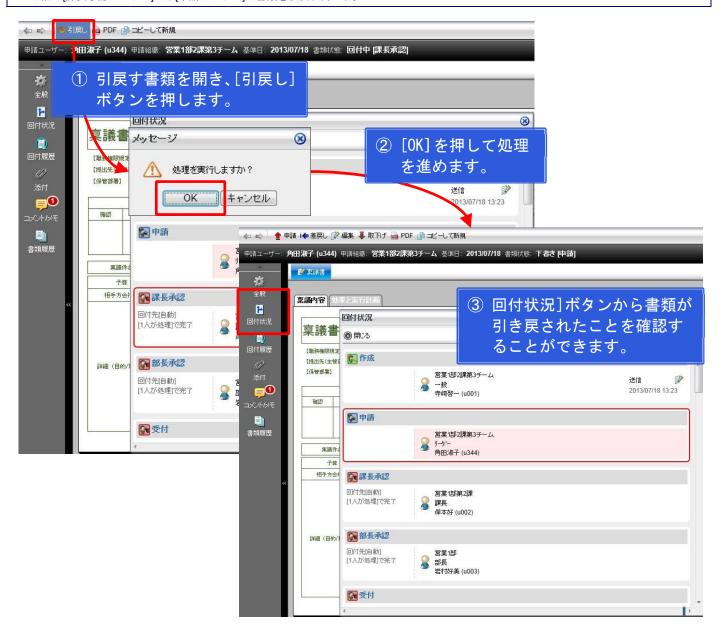


3.6.書類を引戻す

申請後に書類内容の間違いに気付いた場合など、自分が先のステップに回付した書類を自分のステップに戻したい場合は、引戻しを利用します。

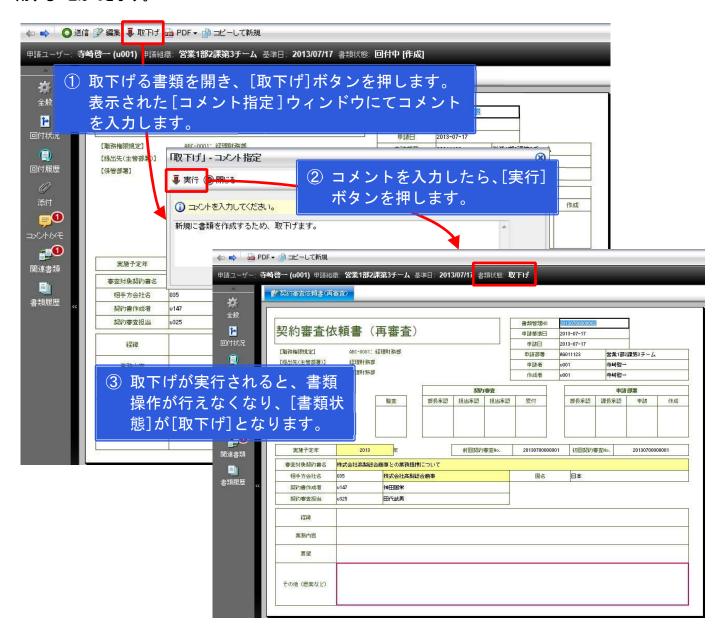
引戻しは、承認などで書類を先のステップに回付後、誰も書類を操作していない状態でのみ行えます。 例えば、自分が書類を申請してから書類を引き戻そうとする間に、次のステップの承認者が既に承認し、書類が進ん でしまっている場合などは、書類を引き戻すことができません。

● 下記は[課長承認ステップ]から[申請ステップ]へ書類を引戻す例です。



3.7. 書類を取下げる

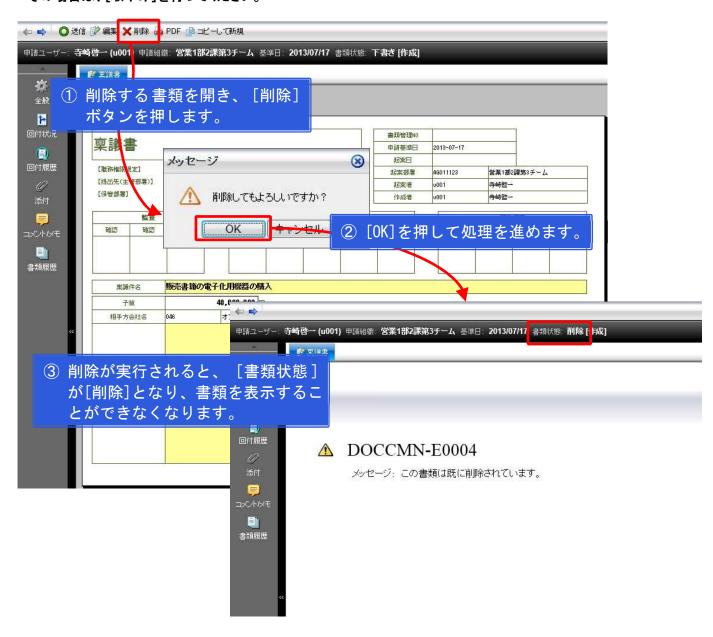
一度回付した書類が [作成者]又は[申請者]に差し戻された場合、書類を取下げることができます。 取下げた書類は、もう[承認]や[差戻し]などの操作を行うことはできませんが、書類の検索や、コピーして新規に利用することはできます。



3.8.書類を削除する

書類を作成、または、申請したユーザー以外に操作されたことが無い書類は削除することができます。

- → 作成後、保存しておいたが、申請する必要が無くなった書類
 - 一度申請したが、引き戻した書類 など
- 書類を削除すると、書類自体を表示することができなくなります。
- ※一度でも作成ユーザー以外に操作(申請・承認など)された書類は[削除]することはできません。 その場合は、[取下げ]を行ってください。

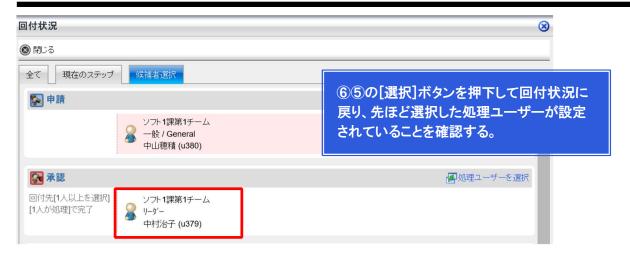


3.9.処理ユーザーを設定する

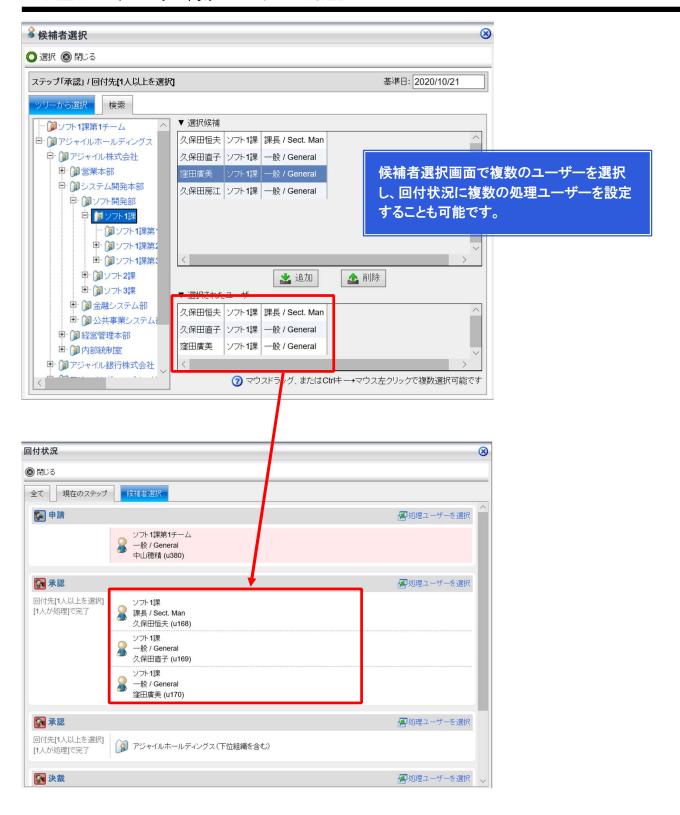
処理ユーザー(申請者、承認者、確認者、報告者)を設定する方法について説明します。 申請者、承認者を設定することができるのは処理ユーザーを候補者の中からユーザーが選択できるようにな

申請者、承認者を設定することができるのは処理ユーザーを候補者の中からユーザーが選択できるようになっているときだけです。申請者、承認者が自動で設定されているときはユーザーが設定することはできません。









第4章.書類を承認する

この章では、書類の承認に関する操作を説明します。

4.1.自分に回付されている書類を承認する : 自分が承認者に指定されている書類を承認します

4.2.代理で書類を承認する : 自分以外のユーザーが承認者の書類を代理で承認します

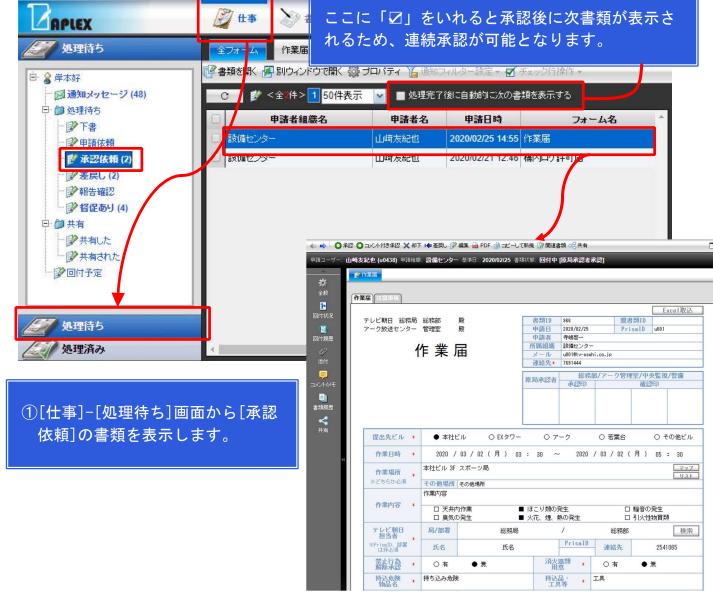
<u>4.3.書類を差戻す</u> : 回付されている書類を差戻します

4.4.書類を却下する : 回付されている書類を却下します

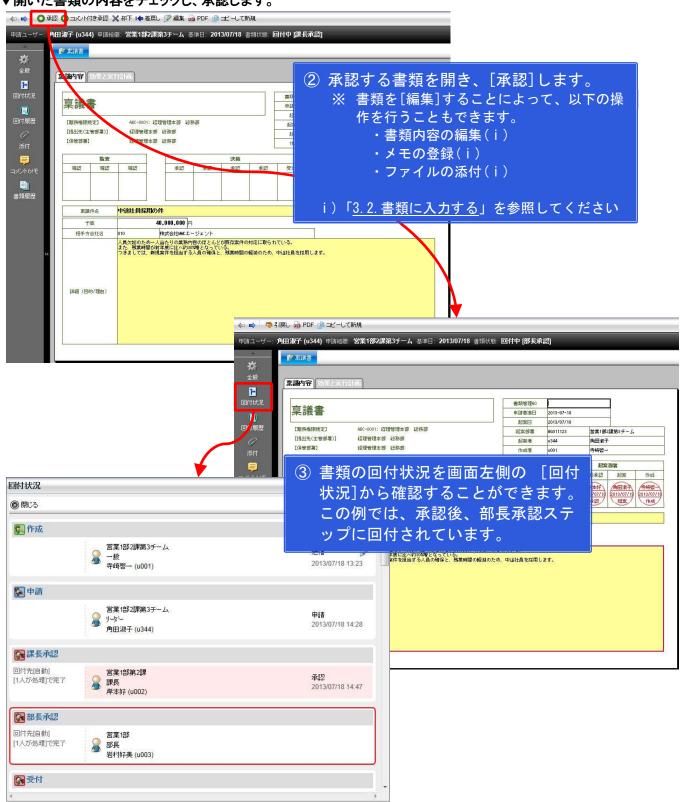
4.1. 自分に回付されている書類を承認する

自分に回付されている書類を承認する手順を説明します。

▼自分に回付されている書類の一覧から、承認する書類を開きます。



▼開いた書類の内容をチェックし、承認します。



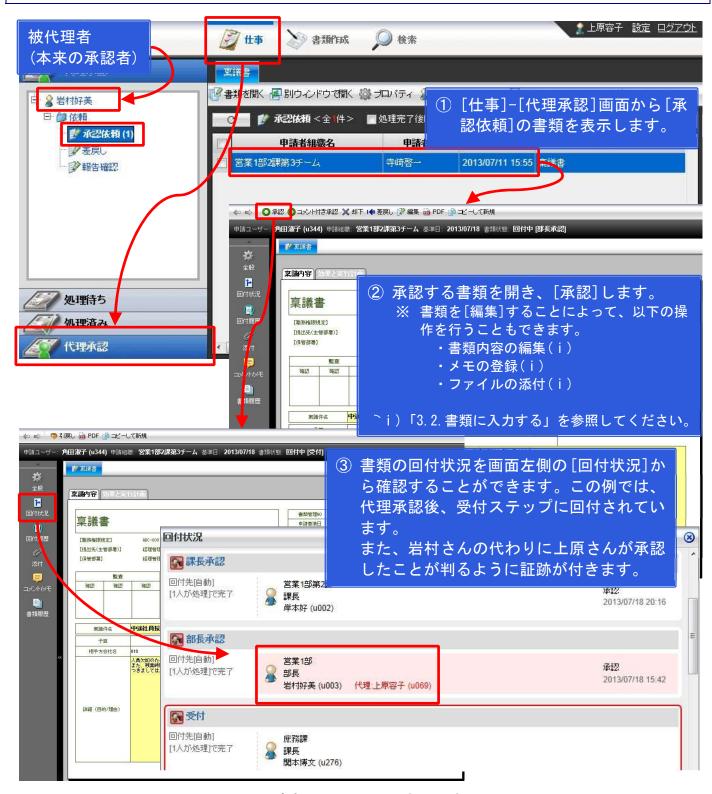
▼最終承認であれば承認後、書類一覧の[最終承認者グループ]に部署名が表示されます。 また、確認後にも[確認者グループ]に部署名が表示されます。

5								
現在のステップ	書類状態	書類ID	親書類ID	関連有無	最終処理日時	最終承認者グループ	確認者グループ	コメント
総務部/本社警備承認	回付中	458		V.	2020/02/17 14:03			
総務部/本社警備承認	回付中	447		-	2020/02/17 13:59			
総務部/本社警備承認	回付中	446			2020/02/17 13:56			
総務部/本社中央監視/本社警備承認	回付中	441			2020/02/17 13:46			
総務部/本社中央監視/本社警備承認	回付中	440			2020/02/17 13:43			
総務部/本社中央監視承認	回付中	429		-	2020/02/17 13:32			
^{総務部/本社中央監視承認}	回付中	420			2020/02/17 13:23			
^{総務部/本社中央監視承認}	回付中	419		-	2020/02/17 13:26			
総務部/EXタワー中央監視承認	回付中	409		-	2020/02/17 12:15			
総務部/本社中央監視/本社警備承認	回付中	408			2020/02/17 09:48			_
総務部/本社中央監視承認	回付中	402		-	2020/02/12 12:37	総務部		
総務部/本社警備/EXタワー警備承認	回付中	401			2020/02/12 12:36			T
必務部/本社警備承認	回付中	393			2020/02/10 14:31			
総務部/本社警備承認	回付中	391			2020/02/10 14:25			
総務部/本社中央監視/本社警備承認	回付中	383			2020/02/10 14:02			
総務部/本社警備承認	回付中	378			2020/02/10 09:07			
^{総務部/本社警備承認}	回付中	373			2020/02/12 13:00			=
総務部/本社中央監視/本社警備承認	回付中	370			2020/02/07 16:42			
総務部/本社中央監視/本社警備承認	回付中	367			2020/02/07 16:31			
務部承認	回付中	366			2020/02/07 16:19			
総務部/本社中央監視承認	回付中	364			2020/02/07 16:13			
総務部/本社中央監視承認	回付中	348			2020/02/07 15:29			
総務部/本社中央監視承認	回付中	330			2020/02/07 12:59			

4. 2. 書類を代理で承認する

この章では、自分が代理権限を付与されているユーザーの書類を代理で承認する手順を説明します。

①下記は岩本さんが岩村さんの代わりに書類を承認する例です。



>> 以上で書類の代理承認は完了です <<

書類を自分が代理で承認したステップに戻したい場合は「3.6.書類を引き戻す」へ 承認した書類の状況を確認したい場合は「5.1.2.処理済み」へ進んでください

4.3. 書類を差戻す

自分に回付された書類の内容に誤りがあるため申請者に修正させたいなど、自分に回付されてきた書類を前のステップに戻したい場合は、差戻しを利用します。

差戻しを行うには、書類が自分に回付されている必要があります。

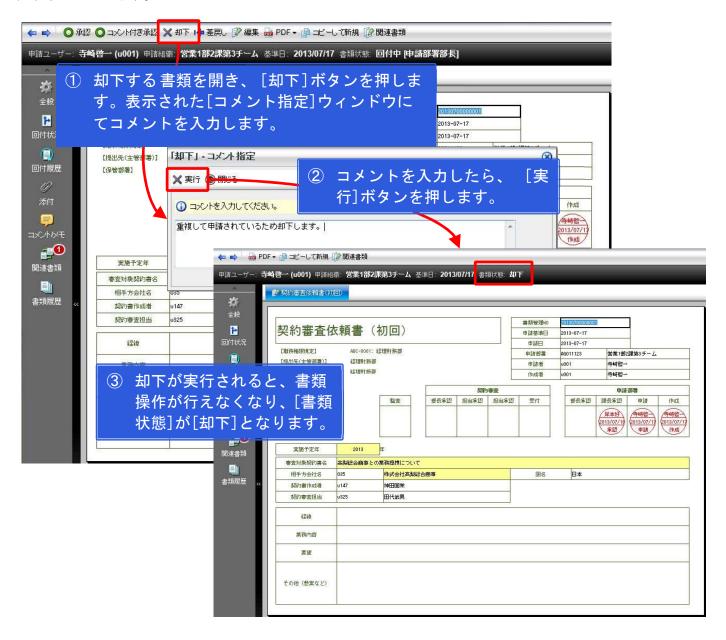
既に書類を承認したが、やはり申請者へ戻したい場合などは、まず「引戻し」で自分のステップに戻してから、「差戻し」を行ってください。



4. 4. 書類を却下する

回付された書類を差し戻しではなく、[却下]させることもできます。

却下された書類は、もう[承認]や[差戻し]などの操作を行うことはできませんが、書類の検索や、コピーして新規に利用することはできます。



第5章.書類を探す

この章では、書類の探し方を説明します。 書類を探すには以下のどちらかの方法があります。

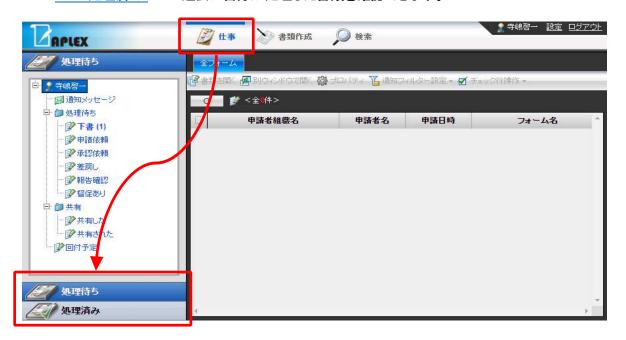
- 5.1.自分が処理する/処理した書類を確認する
- 5.2.条件を指定して書類を検索する

5.1. 自分が処理する/処理した書類を確認する

この章では、自分が処理する書類、又は過去に処理した書類を確認する手順を説明します。 自分に関係する書類を確認するには、機能メニューの「仕事」から、以下2つのワークベンチを選択します。

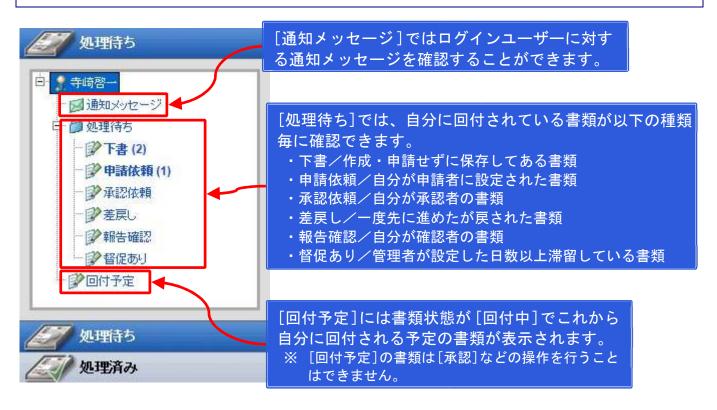
<u>5.1.1.処理待ち</u> : 自分に回付されている書類を確認できます。

5.1.2.処理済み:過去に自分が処理した書類を確認できます。



5.1.1. 処理待ち

処理待ちでは自分が処理しなければならない書類、これから回付される予定の書類などを確認することができます。



5.1.2. 処理済み

処理済みでは自分が処理した書類を確認することができます。

① [仕事]-[処理済み]画面に表示される書類は自分が処理してからの日数が公開期間を過ぎると表示されなくなります。公開期間が過ぎた書類は「検索」から表示してください。① 公開期間とは、自分が処理した書類を閲覧できる期間です。この公開期間の日数は管理者によって設定されます。



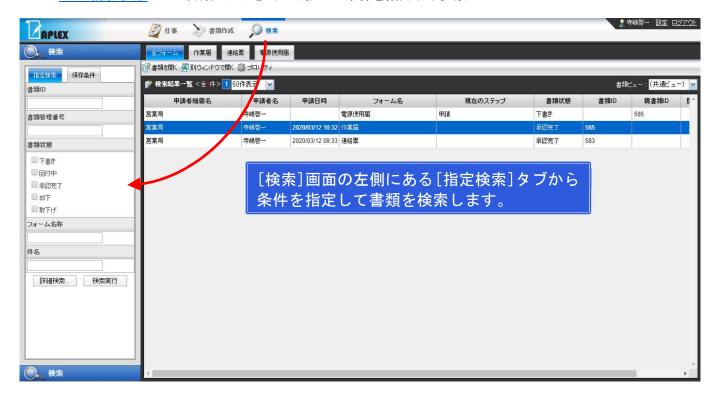
5.2. 条件を指定して書類を検索する

この章では、書類を検索する手順を説明します。

書類の検索は以下の2種類あります。

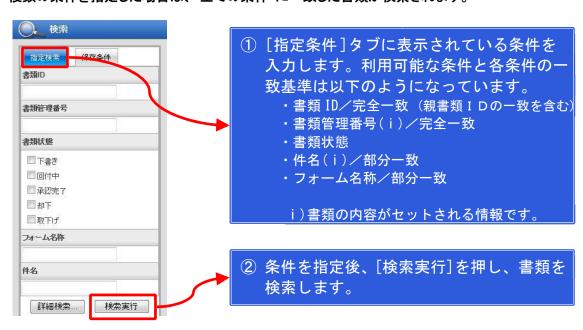
5.2.1.簡易検索 : 書類 ID や件名など検索条件が限られている検索

5.2.2.詳細検索 : 書類の入力値など、細かい条件を指定する検索



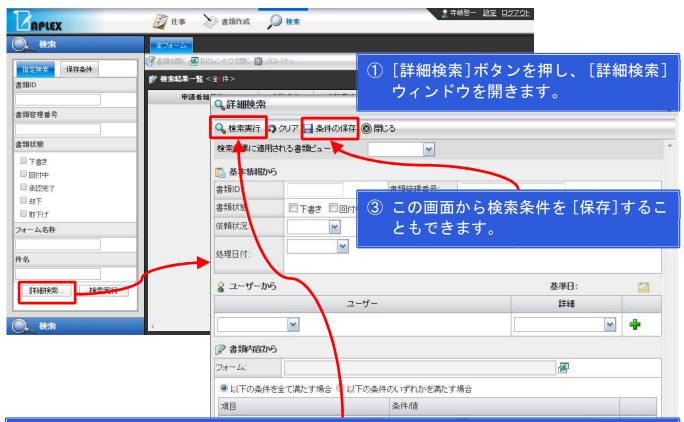
5.2.1. 簡易検索<件名・書類 ID などから検索>

簡易検索では、[指定検索]タブに表示されている条件を利用して検索することができます。 複数の条件を指定した場合は、"全ての条件"に一致した書類が検索されます。



5.2.2. 詳細検索<書類の内容などを指定して検索>

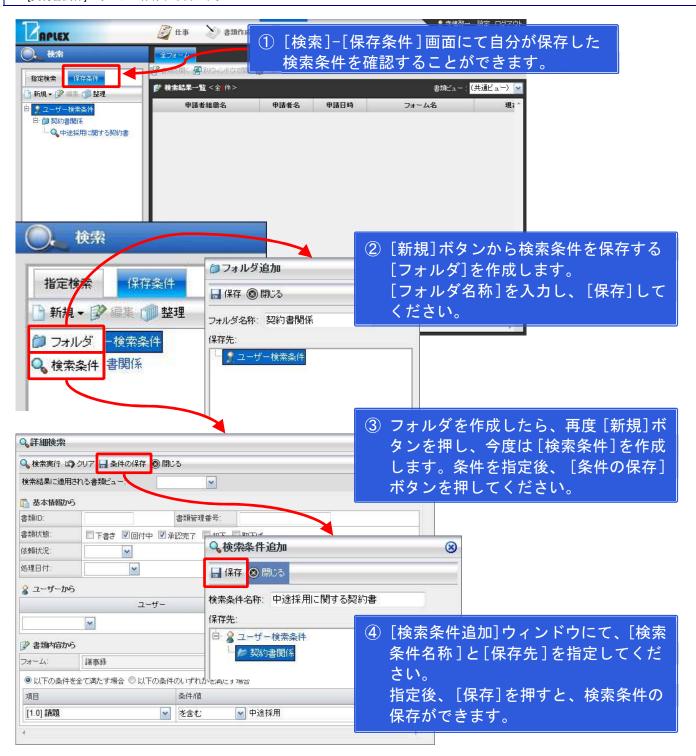
詳細検索では、書類の入力値など、細かい条件を指定して検索することができます。



- ② 検索したい条件を指定したら、[検索実行]ボタンを押して検索します。 以下のような条件を指定して検索することができます。
 - 書類 ID (親書類 I Dの一致を含む)
 - ・書類管理番号
 - 書類状態
 - ・依頼状況/自分に対する依頼(申請依頼、承認依頼など)を指定できます。
 - ・処理日付/申請日、承認完了日、最終更新日などを指定できます。 XX 日前~YY 日前などの相対的な指定も可能です。
 - ・ユーザー/
 - "指定したユーザーが[承認]した"などの条件を指定できます。
 - ・フォーム/
 - "指定したフォームのこの項目に「必要」と入力されている"などの条件を指定できます。

また、[検索]-[保存条件]画面にて、検索条件の保存と、確認(検索実行)を行うことができます。

●下記は[議事録]の[議題]フィールドに[中途採用]という文字列が含まれている書類を検索する条件を[中途採用に関する契約書]といった名前で、 [契約書関係]フォルダに保存する例です。



第6章. その他の書類操作

この章では、書類に関する以下の操作・情報を紹介します。

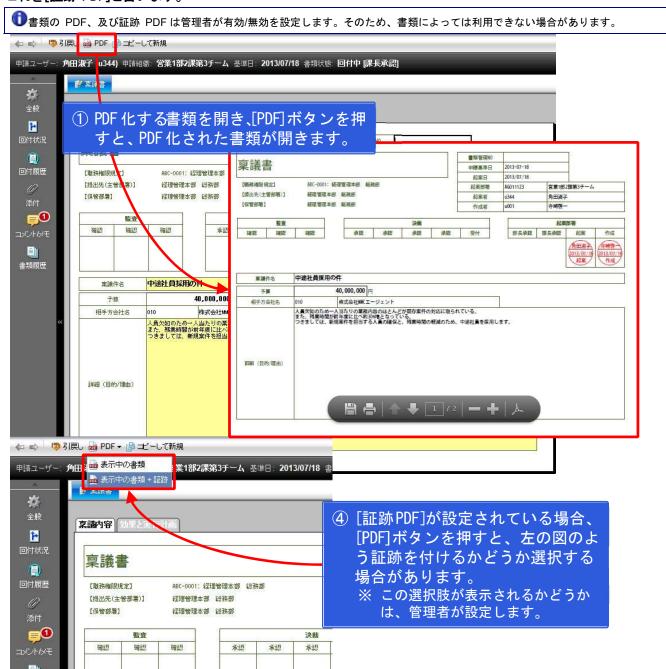
- 6.1. 書類の PDF 化
- 6.2. 書類一覧の CSV-Excel 化
- 6.3. 書類一覧の EXCEL 出力
- 6.4. 書類のプロパティ
- 6.3.書類の共有

6.1 書類の PDF 化

書類履歴

作成した書類を PDF として出力することができます。

書類の PDF 化には[書類自体]の PDF とは別に、[書類の証跡情報]を PDF 化して出力することができます。 これを[証跡 PDF]と言います。



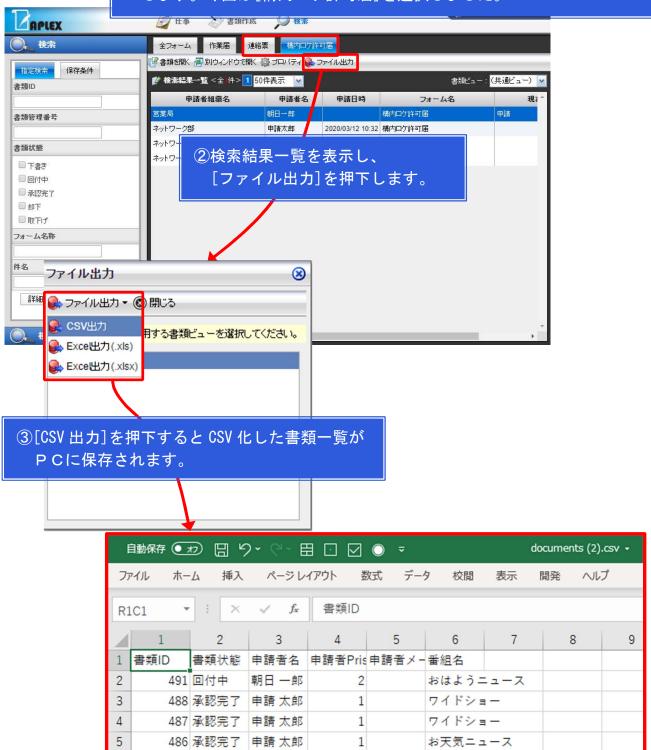
6.2. 書類一覧の CSV-Excel 化

書類一覧を CSV や Excel として出力することができます。

6.2.1. 検索結果一覧から CSV 出力

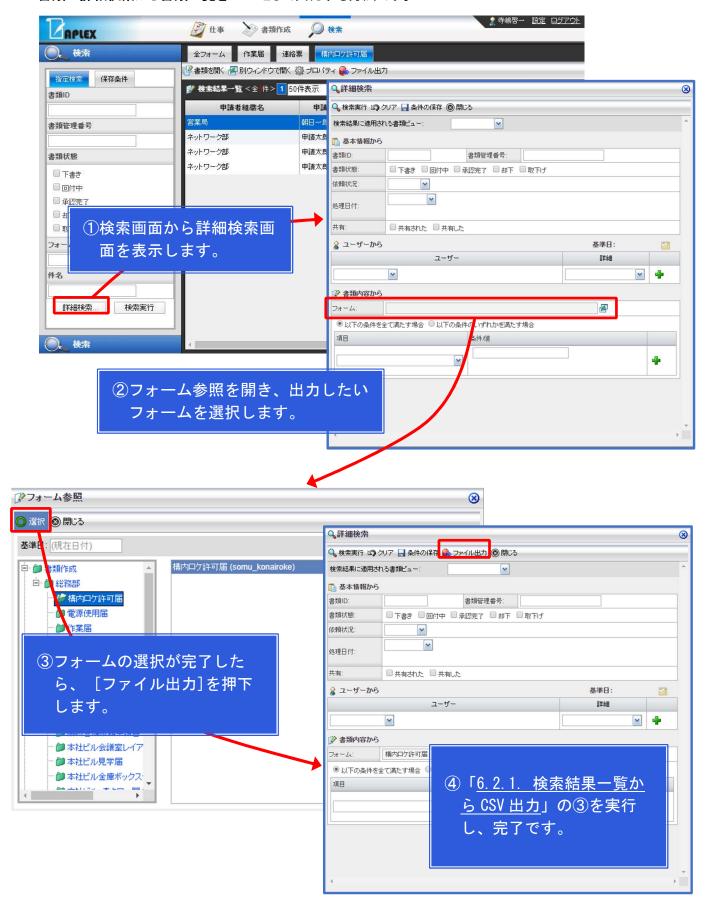
書類の検索結果一覧から書類一覧を CSV として出力する方法です。

①[全フォーム]選択時には CSV 出力不可なので、その他のフォームを選択します。今回は[構内ロケ許可届]を選択しました。



6.2.2. 詳細検索から CSV 出力

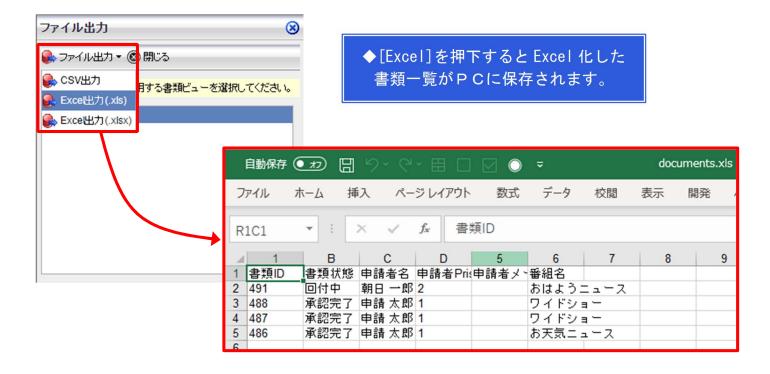
書類の詳細検索から書類一覧を CSV として出力する方法です。



6.2.3. 書類一覧の Excel 出力

<6.2.1. 検索結果一覧から CSV 出力>の③又は<6.2.2. 詳細検索から CSV 出力>の④で

「ファイル出力」を[Excel 出力]にすることで、CSV 化と同様に書類一覧を Excel として出力することができます。



6.3. 書類のプロパティ

書類の左側のメニューから以下のような書類に関する情報を確認することができます。

6.4.1.全般 : 書類の作成日や、利用している回付ルールなどを確認できます。

6.4.2.回付状況 : 書類がどのステップのどのユーザーに回付されているかなどを確認できます。

6.4.3.回付履歴: 書類に対して行われた[申請]や[承認]などの操作の履歴を確認できます。

6.4.4.処理者変更履歴 : 書類に関わる処理者が変更された履歴を確認できます。

6.4.5.書類履歴 : 書類内容の変更履歴を確認できます。



6.3.1.全般



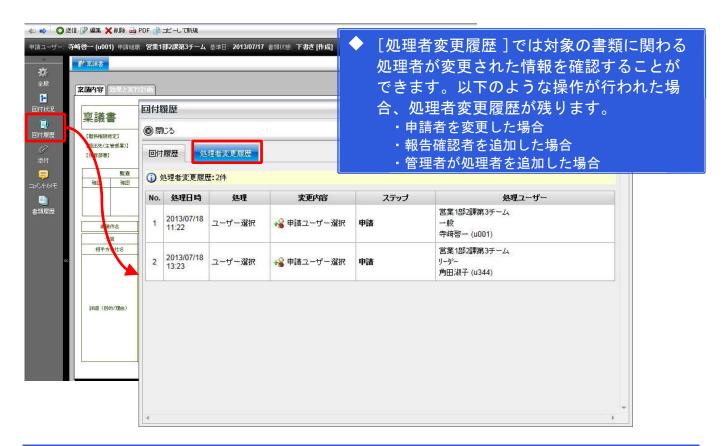
6.3.2. 回付状況



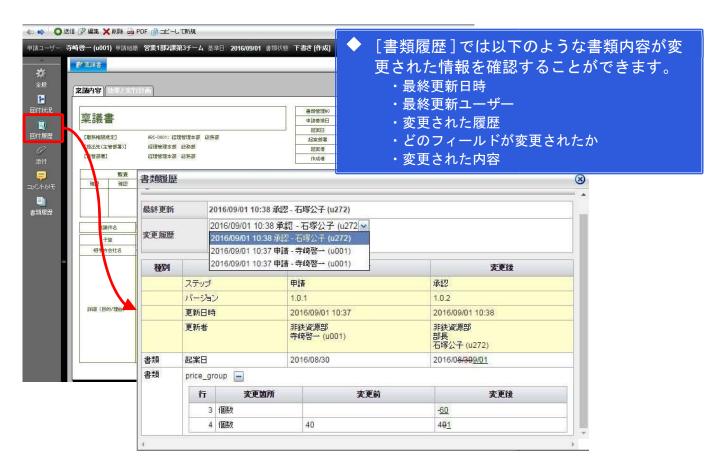
6.3.3. 回付履歴



6.3.4. 処理者変更履歴



6.3.5. 書類履歴

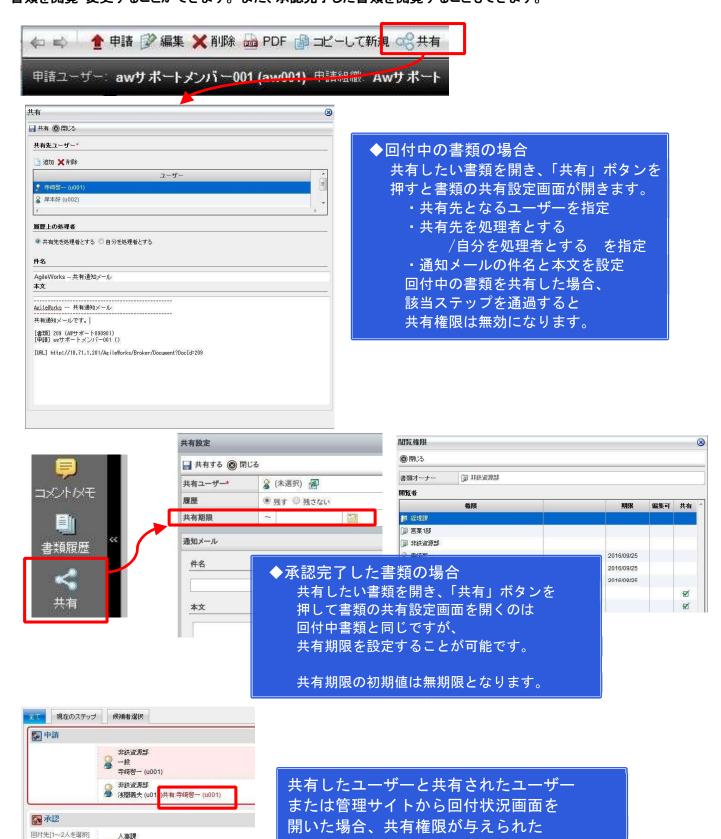


6.4.書類の共有

[1人が処理]で完了

諏佐勤 (u285)

回付中の書類を他のユーザーと共有することができます。共有されたユーザーは 書類を閲覧・変更することができます。また、承認完了した書類を閲覧することもできます。



ユーザーに(共有)と表示されます。

第7章.個人設定

本章では、[設定]画面で確認・変更できる設定を説明します。



7.1. 設定の一覧

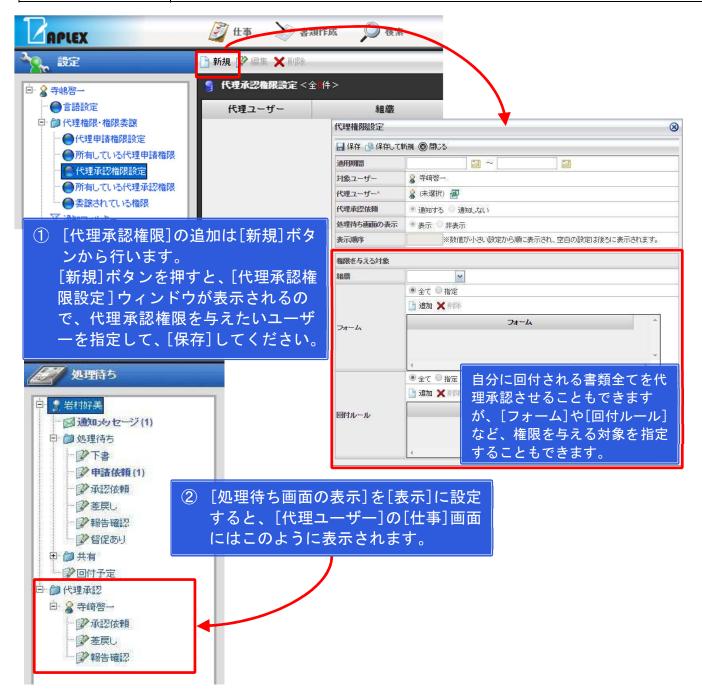
[設定]画面で確認・変更できる項目の一覧です。

設定	説明
言語設定	APLEX を利用する際に表示される言語を設定します。
代理権限・権限委譲	ログインしているユーザーに付与されている代理権限と委譲権限の確認と、他ユーザーに対してログインして
	いるユーザーの代理で申請・承認させる権限を設定します。
	※「 <u>7.2.代理承認権限設定</u> 」「 <u>7.3.代理申請権限設定</u> 」にて設定方法を説明しています。
通知フィルター	通知メッセージ/通知メールのフィルターを設定します。
	※「 <u>7.4.通知フィルター</u> 」にて設定方法を説明しています。
その他の設定	一覧の書類をダブルクリックした際の書類の表示方法、承認時に書類を開いた際の編集状態を設定します。

7. 2. 代理承認権限設定

本来自分が承認する書類を他のユーザーが代理承認させる設定の確認と追加ができます。

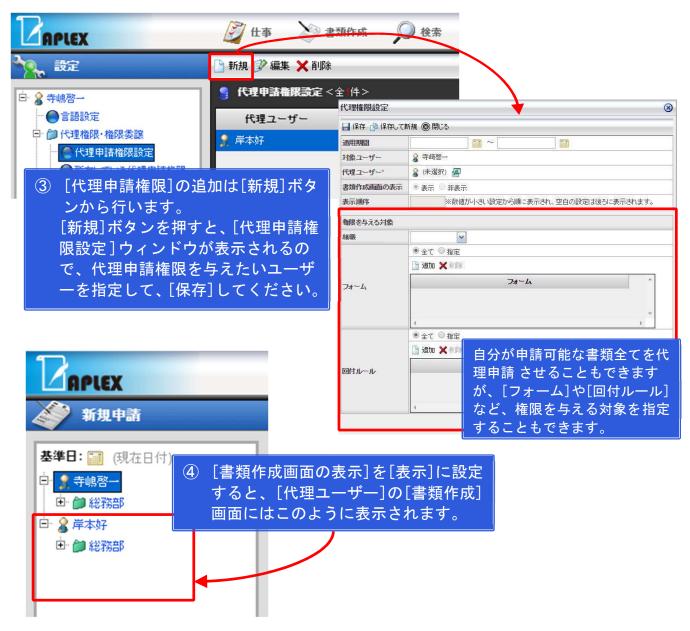
設定項目	説明
適用期間	代理で書類を操作させたい期間を設定します。
対象ユーザー	被代理ユーザー。ログインしているユーザー(自分)から変更できません。
代理ユーザー	代理で書類を操作させたいユーザーを選択します。
代理承認依頼	自分に書類が回付された際に、「代理ユーザー」に代理承認依頼を通知するかどうか選択します。
処理待ち画面の表示	「代理ユーザー」の仕事画面に、自分の代理一覧を表示するかどうかの設定です。(変更はできません)
表示順序	「代理ユーザー」の仕事画面に表示される、自分の代理一覧の順番の設定です。(変更はできません)
組織	自分が所属している組織から、代理で書類を操作させたい組織を選択します。
フォーム	代理で書類を操作させたいフォームを選択します。
回付ルール	代理で書類を操作させたい回付ルールを選択します。



7. 3. 代理申請権限設定

本来自分が申請する書類を他のユーザーに代理申請させる設定の確認と追加ができます。

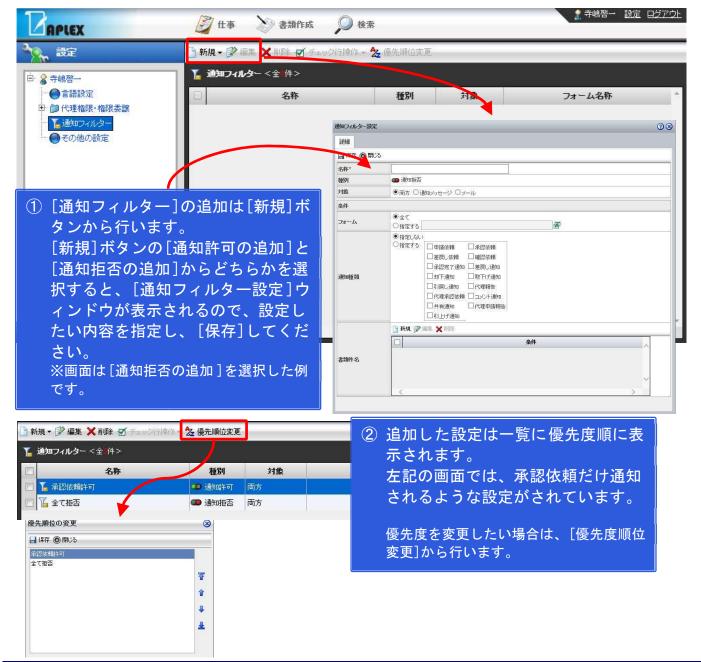
設定項目	説明
適用期間	代理で書類を操作させたい期間を設定します。
対象ユーザー	被代理ユーザー。ログインしているユーザー(自分)から変更できません。
代理ユーザー	代理で書類を操作させたいユーザーを選択します。
書類作成画面の表示	「代理ユーザー」の書類作成画面に、自分の代理一覧を表示するかどうかの設定です。(変更はできません)
表示順序	「代理ユーザー」の書類作成画面に表示される、自分の代理一覧の順番の設定です。(変更はできません)
組織	自分が所属している組織から、代理で書類を操作させたい組織を選択します。
フォーム	代理で書類を操作させたいフォームを選択します。
回付ルール	代理で書類を操作させたい回付ルールを選択します。



7. 4. 通知フィルター

承認依頼などの通知メッセージ/通知メールの受信設定を行うことができます。 追加した設定は、一番上の設定から優先して適用されます。

設定項目	説明
種別	設定を追加する際に、「許可」と「拒否」のどちらかを選択します。
名称	設定を識別する名称
対象	「通知メッセージ」と「通知メール」のどちらに対する設定か選択します。両方を選択することもできます。
フォーム	対象のフォームを選択します。「全て」のフォームに対して設定することもできます。
通知種類	対象の通知種類を選択します。「指定しない」を選択すると、全ての種類に対して設定が有効になります。
書類件名	対象とする書類を件名で絞りたい場合に利用します。



●通知フィルターは管理者サイトでも設定可能です。管理者サイトとユーザーサイトの両方に 通知フィルターが設定されている場合、ユーザーサイトで設定した通知フィルターが優先して適用されます。

7.5. その他の設定

一覧の書類をダブルクリックした際の書類の表示方法と、

承認時に書類を開いた際の編集状態を設定することができます。

◇ その他の設定		
ダブルクリックによる書類表示の方式	● レイヤー方式 ● ウィンドウ方式	
承認時の書類表示モード	● 参照モード □ 編集モード※編集可能な全ての書類に適用されます	

7.5.1. ダブルクリックによる書類表示の方式

書類表示の方式	ダブルクリックを行った時の動作
レイヤー方式	書類画面が現在のブラウザウィンドウ内にレイヤーとして表示されます。
ウィンドウ方式	書類画面がブラウザの別ウィンドウとして表示されます。

7.5.2. 承認時の書類表示モード

書類表示モード	承認時に書類を開いた時の動作
参照モード	書類画面が編集を行えない状態で表示されます。
	編集を行なう場合は「編集」ボタンを押下する必要があります。
編集モード	編集権限を与えられている書類の場合、書類画面が編集可能な状態で表示されます。

第8章.スマートフォンからの書類操作

この章では、スマートフォンでの基本的な書類操作について説明します。

8.1.ログイン : APLEX へのログインについて説明します。

8.2.各メイン画面への遷移 : 各画面への遷移について説明します。

8.3.申請書を表示する:申請書を表示する方法について説明します。8.4.申請書を承認する:申請書を承認する方法について説明します。

8.1. ログイン

APLEX へのログインについて説明します。 モバイルサイトのログイン画面は以下の URL からアクセスします。

https://aplex.tv-asahi.co.jp/AgileWorks/Broker/Mobile

①PrismID と PrismID のパスワードを 入力し、[ログイン]を押下します。

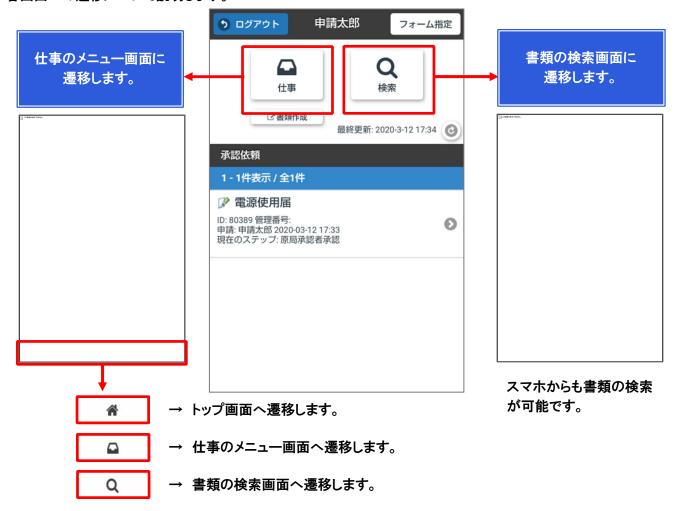


②トップ画面が表示されたら ログイン成功です。



8. 2. 各メイン画面への遷移

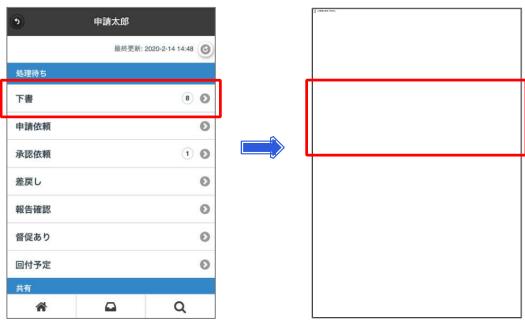
各画面への遷移について説明します。



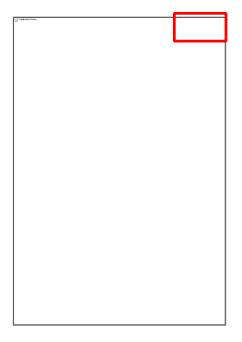
8.3. 申請書を表示する

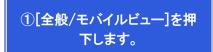
申請書を表示する方法について説明します。

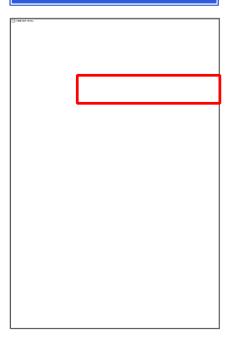
仕事のメニュー画面から申請書一覧画面に遷移すると、表示したい申請書を選択することができます。



申請書の表示が完了しました。 [メニュー]から表示形式の変更が行えます。







②各項目ごとの表示方法に切り替わります。



[書類表示]を押下することで元の申請書形式に戻すことが可能です。

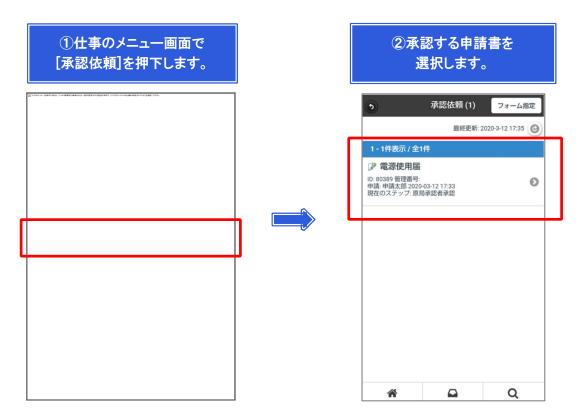
8.4.申請書を承認する

申請書を承認する方法について説明します。 承認する申請書の選択方法は以下の2パターンがあります。

<選択方法1>



く選択方法2>



承認する申請書の選択をすると承認画面に遷移します。

承認画面では申請書の編集が行えます。編集をせずにそのまま承認することも可能です。

く編集方法>



<承認方法>

